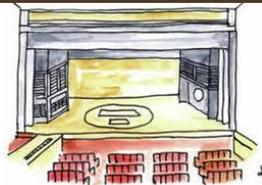


和地ひとみレポート No.85

東大和市民会館“ハミングホール”の指定管理者を見直し 新たな指定管理者により「まだある可能性」を掘り起こす



■指定管理者により運営されている市民会館

…“ハミングホール”という愛称で市民の芸術振興の拠点として親しまれている東大和市民会館。このハミングホールの管理運営は、指定管理者により行われています。指定管理者制度とは、それまで地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO法人・市民グループなど法人その他の団体に包括的に市が代行を依頼すること。当市でもハミングホールの管理についてはこの制度を導入しています。

…ハミングホールの管理、運営については『東大和市民会館条例』で定められておりますが、指定管理者を利用する場合には、その指定期間が5年と定められています。よって、来年の4月から管理運営を行う団体を上記条例にのっとり公募したところ、4団体が応募されました。

■他自治体で多くの実績のある団体を選定

…4つの応募団体の審査は、副市長をはじめ市の関係部署の部長がメンバーとなっている『東大和市指定管理者選定委員会』により行われ、最終的にJNS共同事業体が選抜されました。6月4日から開催される市議会において、管理者の指定についての議案が出され、市議会で検討を行い、最終的に議決が得られた場合には、JNS共同事業体が来年度からのハミングホールの管理運営者となります。議会では今回は条例の変更ではないものの、協定先の変更を重く捉え、厚生文教委員会で指定管理者候補について審査を行った上で議決をおこなうこととなっています。

…JNS共同事業体は代表団体を株式会社JTBコミュニケーションズとし、野村ビルマネジメント株式会社(主に施設管理)、株式会社シグマコミュニケーションズ(主に舞台技術関係など)で構成された団体です。市は選定結果の理由として『他自治体での実績』の他に、『芸術

文化事業の推進のほか、商店会、商工会との連携を含めた地域の活性化、観光への寄与等、総合的な企画力が優れていること、サービスの姿勢が特筆すべきものであり他の公共施設の波及効果が認められること、現状維持ではなく積極的に変えていこうとする意識が強いこと』をあげています。

■民間の活力と実現力に期待

…今回の選定結果を受け、JNS共同事業体が応募時に提出した、基本事業計画書や収支予算書を含む、いわゆるプレゼンテーション資料が議案の資料として配布されました。80P以上のその内容は、話の流れはもちろんのこと、基本的な考え方、その上での実績、さらにその実績をどのように活かして東大和市ならではの方法に落とし込んでいくかという案などが書かれています。競争の激しい民間企業では当然と言われるプレゼンテーションの内容かもしれませんが、市の作成する様々な計画書にはない「イメージのわく内容」となっています。市には、指定管理者の審査だけにとどまらず、このような企画書に刺激を感じ、こういう機会に企画のノウハウも習得してほしいと感じました。

…代表団体であるJTBコミュニケーションズは中野区の3つの文化施設の指定管理業務も行っており、「市民との協働」による生涯学習活動の発展に注力し、行政、区民、指定管理者の三者協働による区民発の事業を実現。その取り組みは、先駆的事例として2010年度からの「放送大学院」の教材として取り上げられ、生涯学習活動の新たなモデルとして全国に紹介されています。…新たな指定管理者には、民間ならではのアイデアの発信とともに、ハミングホールの管理運営に留まらず、行政だけではなかなか進まない「市民協働」の実例を実現してくれることを期待します。そして、行政、市民、指定管理者の間の刺激剤的な存在になってくだされば、東大和市の活性化に大いに役立つと思います。

、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ